平成３０年度　国内チーズ工房における製造者長期研修事業　実施要領

１　目　的

　　環太平洋パートナーシップ（ＴＰＰ（ＴＰＰ１１を含む。））及び日ＥＵ経済連携協定の発効を見据え、国産チーズの競争力を高めるとともに、その需要を確保し、我が国の酪農・乳業関係者が将来にわたって安定的に国産チーズの生産に取り組めるようにするため、チーズ工房等のチーズ製造者における長期研修の実施を支援し、国内のチーズ工房における製造技術の向上に資する。

２　内　容

　　国内のチーズ製造者（今後予定しているものも含む。学生は除く。）が、１か月以上の長期研修を行った場合の研修費について助成する。

３　研修の条件

1. 受入工房側

日本国内で一定程度の高品質なチーズづくりが評価されている工房で、研修生を受け入れた際に、実質的な指導体制が整っていることが担保される工房。

1. 研修者側

日本国内でチーズの製造を行っている、もしくは今後製造を計画しているチーズ工房の製造技術者。

４　支援の内容

1. 受入工房側

・工房への謝金：１日当たり7,900円

1. 研修者側

・宿泊費：１泊当たり最大5,000円（ただし、町内の農業研修施設やお試し移住用体験住宅等を活用し、費用低減に努めること）

・旅費：居住地から研修先工房への往復の旅費。（別途定める旅費規程に準ずる）

５　事務局

　　本事業の事務局を、株式会社ＦＯＯＤ　ＶＯＩＣＥ内に置く。

６　受入工房への依頼及び研修希望者の募集方法について

　　研修希望者は、自らの研修内容を踏まえた研修候補先を調整するか、研修希望の内容を事務局に対し提出する。

事務局は、研修希望者の希望内容を踏まえ、過去の「オールジャパンナチュラルチーズコンテスト」「ジャパンチーズアワード」などの受賞歴のある工房や、長期研修生の受け入れ実績がある工房に対して、本事業による受け入れが可能か打診を行い、調整を行う。

７　事業実施にかかる事務手続き

1. 参加申し込み

研修生は、様式第１号の参加申込書を、研修開始予定日の１か月前までに、事務局に提出する。

事務局は、研修内容を精査し、実施の可否を参加希望者に通知する。

1. 研修日報の作成

研修生は、様式第２号の研修日報を作成しなければならない。

受け入れ工房は、上記研修日報の内容を確認し、内容に相違がなければ確認印を押印する。

1. 研修終了にかかる実績報告及び交付申請

研修生は、研修終了後１４日以内に、様式第３号の実績報告書及び交通費等交付申請書を事務局に提出する。

受け入れ工房は、研修受け入れ終了後１４日以内に、様式第４号の受入報告書兼謝金等交付申請書を事務局に提出する。

４）助成金の支払い

事務局は、上記の実績報告の提出があった後、研修内容を精査し、適当と認められる場合、研修生及び受け入れ工房に対し、助成対象経費を支払う。

８　事務局の支援

　　事務局は、本研修事業がより成果があがるものとするため、実施権周知における状況確認や、研修希望者と工房間の調整を行う。

９　研修実施に向けたスケジュールについて

　９月～　：研修希望者募集の広報

　１０～２月：研修生受け入れの開始

　３月　　：実績報告

国内チーズ工房における製造者長期研修事業事務局

株式会社FOOD VOICE 内 （担当；今野）

問い合わせ先

☎ （03）5875-8023

✉ project\_b@food-voice.com

様式第１号

国産チーズ競争力強化支援対策事業

チーズ工房国内長期研修事業参加申込書

住　所

　Tel

氏　名

　平成３０年度標記事業について、国内チーズ工房における製造者長期研修事業実施要領７の１）に基づき、参加を申し込みます。

１　研修希望工房

　１）調整済

　　工房名：

　　住　所：

　　代表者：

　２）具体的な研修先は決まっていない

２　主に習得したいチーズの種類

|  |
| --- |
|  |

３　研修希望時期

　　　　月　　　日　　から　　月　　　日まで

４　自身の経歴

　チーズ製造の実績　　　　　年　　か月

　チーズ製造した種類

* 履歴書を添付のこと（チーズ研修の履歴について詳細に記載のこと）

５　研修中の宿泊先

1. 決定済

　２）調整中

様式第２号

国産チーズ競争力強化支援対策事業

チーズ工房国内長期研修事業研修日報

研修生氏名

研修工房名

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月日 | 研修実施  時間 | 研修内容 | | | 指導者  確認印 |
| 製造チーズ  のタイプ | 研修工程 | 研修内容 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

様式第３号

国産チーズ競争力強化支援対策事業

チーズ工房国内長期研修事業　実績報告書

研修生氏名

１　研修先工房名　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　）

２　研修期間（実績）

　　平成　　年　　月　　日　　～　平成　　年　　月　　日　（実質　　日）

３　研修成果

1. 主に研修を受けたチーズの種類

|  |
| --- |
|  |

1. 主に実施した研修内容

|  |
| --- |
|  |

1. 研修で習得した情報、技術

|  |
| --- |
|  |

　４）研修日報　　様式２号のとおり

４　研修後の予定について

1. 現在開設している工房において製造を続ける
2. 今後、新たに工房を設置する。
3. その他

様式第４号

国産チーズ競争力強化支援対策事業

チーズ工房国内長期研修事業　受入報告書及び謝金等交付申請書

住　所

　Tel

受入工房名

代表者氏名

１　研修実施者氏名

２　研修期間（実績）

　　平成　　年　　月　　日　　～　平成　　年　　月　　日　（実質　　日）

３　研修成果

1. 主に研修を実施したチーズの種類

|  |
| --- |
|  |

1. 主に研修を実施した内容

|  |
| --- |
|  |

1. 研修生の態度や受講姿勢についての感想

|  |
| --- |
|  |

４　謝金実績額

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研修期間 | 研修実績日数(a) | 謝金単価(b) | 謝金支払金額（総額）(c)=a×b | うち  消費税相当額 |
|  |  | 7,900円 |  |  |

５　支払先口座情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 金融機関名 |  | 口座種類・番号 |  |
| 支店名 |  | 口座名義人 |  |